

【上腕二頭筋長頭腱損傷 診察】

問 1. ヤーガソンテストで抵抗を加えるときの患者への動作指示はどれか。(第 28 回)

1. 肘の屈曲
2. 肘の伸展
3. 前腕の回内
4. 前腕の回外

問 2. スピードテストで誤っているのはどれか。
(第 30 回)

1. 結節間溝部の疼痛を確認する。
2. 患者に肩屈曲を指示する。
3. 肩部と前腕遠位部を把持する。
4. 前腕を回内位で行う。

問 3. スラップ損傷で関節唇の断裂部位はどれか。
(第 31 回)

1. 上方
2. 下方
3. 前方
4. 後方

問 4. 上腕二頭筋長頭腱の断裂で誤っているのはどれか。(第 32 回)

1. 腱の変性で発生頻度が高くなる。
2. 外旋運動で発生する。
3. 大結節との摩擦が関与する。
4. 筋腹の膨隆が遠位に移動する。

問 5. 圧痛が上腕骨近位前方に限局するのはどれか。
(第 33 回)

1. SLAP 損傷
2. 動揺性肩関節
3. リトルリーガー肩
4. 上腕二頭筋長頭腱炎

問 6. 伸張性収縮を評価するのはどれか。
(第 33 回)

1. スピードテスト
2. ホーキンスサイン
3. ヤーガソンテスト
4. ドロップアームサイン

問 7. 上腕二頭筋長頭腱断裂の症状で正しいのはどれか。(オリジナル問題)

1. 肘関節の他動運動は可能である。
2. 上腕二頭筋の筋腹は近位に移動する。
3. 回内筋力の低下がみられる。
4. チェアーテストが陽性となる。

問 8. 上腕二頭筋長頭腱損傷について正しいのはどれか。(オリジナル問題)

1. 大結節側で腱が摩擦を起こし損傷する。
2. 10～20 代に好発する。
3. 結節間溝に圧痛を生じる。
4. 上腕横靱帯を断裂すると大結節を乗り越える形で脱臼することが多い。